

# かずさの博物誌

## キアシシギ

～澄んだ美しい鳴き声～

文・写真／成田篤彦

2012.6.20



©成田篤彦

### ▲砂浜でえさをさがすキアシシギ

＝2012年3月13日 木更津市 筆者撮影

くちばしが黄色で、先の方は黒色だ。脚の色は鮮やかな黄色。これが、キアシシギ（黄脚鷗）の名の由来である。中には眼をつぶっているものもいた。満潮でえさがとれないので、休息をしているのだ。一時間ほど待つと海岸沿いや沖合に洲が現れた。

すると十数羽の群れで飛び立ち、「ピー」と澄んだ声で鳴き、海藻が流れ着いた砂浜に降りた。首をのばし、大腿で歩きながら、えさをついばみ始めた。その後、沖合の中洲で休息していた。しばらくするとまた、群れで飛んできて、杭で休息した。それを繰り返していた。

キアシシギはロシア極東地域で繁殖する。春の渡りの時期は越冬地から繁殖地に渡り、秋の渡りの時期には繁殖地から越冬地に渡る旅鳥である。主な越冬地はオーストラリアから東南アジアである。

外のシギは普通、春と秋の二回日本を通過する渡り鳥だが、キアシシギは冬を除いて、春から秋の遅くまで、とどめなくさまざまな環境に訪れる。

上総でも盤洲の海岸や河口のテトラポットや河川の堰、水田などいろいろな場所で、冬季以外に観察できる。

えさはコメツキガニ、チゴガニ、アナジャコ、ゴカイなどである。過去の記録を見ると上総の盤洲



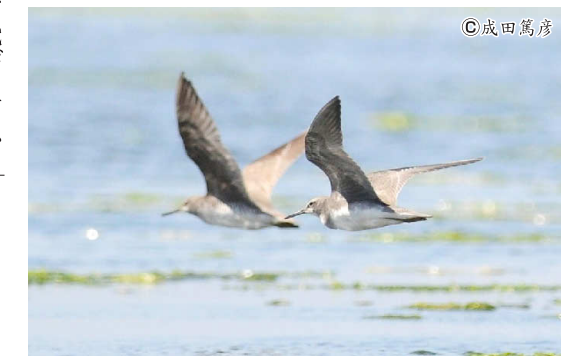
©成田篤彦

### ▲キアシシギ チドリ目 シギ科 春と秋に訪れる 千葉県指定要保護生物

＝2012年3月13日 木更津市 筆者撮影

さくばし、大股で歩きながら、えさをついばみ始めた。その後、沖合の中洲で休息していた。しばらくするとまた、群れで飛んできて、杭で休息した。それを繰り返していた。

キアシシギはロシア極東地域で繁殖する。春の渡りの時期は越冬地から繁殖地に渡り、秋の渡りの時期には繁殖地から越冬地に渡る旅鳥である。主な越冬地はオーストラリアから東南アジアである。



©成田篤彦

### ▲飛ぶキアシシギ

＝2011年9月10日 木更津市 筆者撮影

の海岸では一九七七年八月、八〇八羽、市川市新浜では一九六七年八月に一三八四羽の記録がある。

また、千葉県で足輪を付けたキアシシギがオーストラリアで確認されている。また、オースト



©成田篤彦

### ▲群れで飛ぶキアシシギ

＝2012年5月16日 木更津市 筆者撮影